



No.107 2023.1 KENJIKYO

**MIE**



早朝のおはらい町

<b>巻頭のあいさつ</b>	
熊野市長 河上 敢二	1
<b>年頭のあいさつ</b>	
会長 相原 清安	2
<b>建築士事務所キャンペーン</b>	
建築士事務所キャンペーン◇出前講座	
広報・渉外委員会 委員 中浦 達也	3
広報・渉外委員会 委員長 伊東 俊一	4
<b>委員会報告</b>	
令和4年度 業務・技術委員会、教育・情報委員会	5
<b>支部ひろば</b>	
四日市支部	6
鈴鹿支部	6
津支部	7
松阪支部	7
<b>事務所紹介</b>	
陽(はる)設計	8
株式会社 小林設計	8
株式会社 近藤建設一級建築士事務所	9
向井照雄建築事務所	9
<b>目安箱</b>	
地域自然遺産の活用	
紀州支部 木村 一樹	10
街路樹は一体だれのものなのか。	
伊賀支部 森本 景二	10
地域の空き家について	
志摩支部 片山 正司	12
ある建築確認検査機関の対応と創業者の教え	
伊勢支部 西井 一比古	12
<b>新入会員紹介</b>	
住まいと暮らしの設計室	14
一般社団法人 三重県建設資材試験センター	14
イズマイ建築設計	14
奥出設計一級建築士事務所	14
<b>休憩室</b>	
桑名支部 石塚 敏	15
鈴鹿支部 見取 貞義	15
<b>視点・論点</b>	
広報・渉外委員会 副委員長 見永 亮介	16
広告	17



## 巻頭のごあいさつ

熊野市長 河上 敢二

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、ご活躍のことと謹んでお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、平素から当市をはじめ県内の建築、住宅行政にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、建築業界を取り巻く情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響や原材料の高騰、人材需給の逼迫など刻々と変化しております。建築物についても、新たな生活様式に即したニーズが大きく高まっており、会員の皆様に対する期待が益々大きくなっております。

また、昨今の激甚化する豪雨災害や40年以内の発生確率が90%程度に引き上げられた南海トラフ地震など、未曾有の災害や復興復旧に対する課題が山積しています。

そのようななか、当市におきましては、コロナの感染症対策に加え、ウィズコロナを前提に日常生活を取り戻し、大きく疲弊した経済の回復・再活性化を行うことに取り組んでまいりました。

民間建築物に対しては、定住促進や主要産業である林業の振興等のため、一定の条件はございますが、木造住宅を建築される方への補助を行っております。

防災面では、市街地にある緊急輸送道路を無電柱化し、景観に配慮した災害に強いまちづくりを進めています。また、第二次熊野市建築物耐震改修促進計画の目標において、令和7年度末の住宅耐震化率を75.8%以上としており、耐震診断、耐震補強設計及び耐震補強工事の補助事業を実施するほか、空き家の除却対策にも取り組んでおります。

デジタル社会分野におきましても、熊野市DX推進計画を策定し建築、建設関連を含めデジタル技術を積極的に取り入れ、持続可能で安定した行政サービスを提供することができるよう取り組んでおります。

どうか引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴会の益々のご発展と会員の皆様お一人おひとりの更なるご健勝を心からお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。





## 新年のご挨拶

一般社団法人 三重県建築士事務所協会  
会長 相原 清安

令和5年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。  
会員各位におかれましては、新年を健やかに迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。

3期目の会長職を拝命し、日頃、当協会の運営に会員・賛助会員・役員の皆様方の多大なるご支援・ご協力をいただいておりますこと、心より厚くお礼申し上げます。

本年は、コロナの状況も落ち着きがみられるものの、ウィズコロナに適応していかなければならない状況が続きそうですが、やっと私の好きな春夏秋冬の四季を感じながら日々を過ごしていけるのではと考えています。

昨年2月のロシアのウクライナ侵攻による様々な物資の供給不足に伴っての物価高騰、円安等、深刻なニュースが数多くあります。

しかしながら、我々は、新型コロナウイルス感染症、世界的困難、温暖化がもたらす自然災害の頻発・激甚化、少子高齢化、経済成長の停滞、このような事態に向き合っていかなければなりません。

当協会としても、会員の高齢化による会員数の減少、委員会事業の活性化、固定費の問題、安定した協会運営の為に新しい収益事業の開拓等と課題が山積しています。

本年こそは、事業計画に挙げさせていただきました「ピンチはチャンス」「試練にチャレンジ」の構築を進め、従来の事業等を見直し危機感を感じつつ、他を頼らず自力で運営できる事業を創造・開拓していかなければなりません。

今年は「癸（みずのと）卯（うさぎ）」年とのこと、兎には跳ねる特徴があるため、景気が上向きに跳ねる、回復すると言われており、鳶目兎耳（えんもくとじ）となり、新たな課題・ハードルを乗り越えるために、地道に常に情報収集に努め、好奇心・探求心をもって積極的に進むことで新たな発展へと繋げる年にしていきたいと考えています。

私をはじめ、役員がそれぞれ与えられた役割をよく理解し一人一人が目的を明確に持ち、やるからには「明るく楽しく前向きに」をモットーに魅力ある協会の創出などを理事会等にて検討を重ね、今まで以上により強固な組織となるように邁進する所存です。

また、三重県を始め各市町での意見交換を通じて信頼関係を構築し、日事連・関係団体とも連携・交流を深めて業界の一層の進展に努めたいと思います。

当協会の維持・発展のためには、何事も、会員皆様方のお支えが無ければ成就不可能なのが現実であり、今後もより一層のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本年も会員・賛助会員各位がご健康で、益々のご活躍、ご清栄でありますように祈願いたしまして、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

## 2022 建築士事務所キャンペーン

# 出前講座

 津工業高等学校

令和 4 年 9 月 20 日

広報・渉外委員会 中浦 達也

広報・渉外委員会では、今年度、津工業高等学校で出前講座を行いました。津支部の前川さんが津工業高等学校の出身という事もあり講座の話がまとまりました。

講座日は令和 4 年 9 月 20 日で津工業高等学校建設工学科 2 年生の 36 人を対象に津支部の前川さん、松阪支部の田中さん、鈴鹿支部の中浦が担当で講義を行いました。当日は 12:30 に事務室で打合せを行い、午後の 5,6 限を担当させていただきました。



最初に 5 限目前半は田中さんが担当し建築士の仕事、計画を行う上での考え方・取組み方、住宅実例や計画案、エスキースの進め方等をスケッチ・パース・図面実例写真を用意し講義をされました。次に 5 限目後半は中浦が担当し地域に根差した建築士の取り組みとして、建築士の業務は単に設計をするだけでなく、地域での活動や調査、維持修繕活動をおこなうことを図面・調査や状況の写真等を用意し説明しました。



最後の 6 限目は前川さんが担当し、実際の事例紹介として、住宅 2 件、物販店舗 1 件、集合住宅 1 件各建物平面図・立面図・パース・実例写真を用意し講義をされました。生徒の皆さんも、熱心に耳を傾けて頂き、また講義をする側も、自身の仕事や活動を改めて再確認する機会となり、大変有意義な出前講座となりました。終了後には学校側よりアンケートを取っていただき、出前講座に対して概ね好評を得ることができたのではと感じています。中々高校側の希望や要望を汲み取ることが難しく、講座準備の時間を十分に取れなかった事は反省点とし次回に活かせればと思います。

地域の建築の未来を担うであろう高校生に、僅かながらでもその成長の一助となることが出来るよう、今後もこのような活動を地道に続けて行くことができればと考えております。

## 2022 建築士事務所キャンペーン

# 出前講座

伊勢工業高等学校

令和4年9月28日

広報・渉外委員会 委員長 伊東 俊一

伊勢支部の水谷さんと志摩支部の片山さんと委員長の伊東が、2・3年生の製図の時間で出前講座を令和4年9月28日水曜日の午前中に行いました。

一限目にパワーポイントを使って、建築士や建築士事務所などの職能について説明したり、お客さんへの設計意図をより良く伝えるために、プレゼンテーションを大切にしていることを知ってもらうのに、パースや動画、完成写真を見てもらいました。

その感想を聞いたりして生徒達と意見交換をしました。

二限目は生徒が設計している図面の発想の着目点を聞いたりし、アドバイスしました。

また、伊勢新聞社と建通新聞社が取材に来てくれました。(以下、新聞社の記事の抜粋)

『同協会が、若い世代に建築士の仕事に興味を持ってもらい、担い手の育成につなげようと、工業高校や建築学科のある学校に出向いて開いている。

3年生の授業では39人が参加。協会の伊東俊一広報・渉外委員長が建築士の仕事を説明し、設計を手がけた建築物を紹介。「建築士は素晴らしい仕事。ぜひ仲間になってほしい」と呼びかけた。授業では生徒らがパソコンを使って作成している集合住宅の設計図を見て、一人一人にアドバイスしていった。

生徒の一人は「建築士の仕事っていいなと思った。建築士の知識があれば、仕事の幅が広がる。製図も実践的なアドバイスをもらうことができた」と話していた。





## 業務・技術委員会

委員長 清田 篤人

業務・技術委員会は空き家(既存住宅)関連業務を中心に今年度の委員会活動を実施しております。まず、国交省の支援事業である『みえ空き家流通促進モデル事業』を手掛ける三重県空き家対策連絡協議会に参加し、空き家状況調査業務を行う予定で詳細を三重県と鋭意協議中です。

また、日事連からの支援事業として、既存住宅状況調査業務と中古住宅適合証明業務を統合・連携させるソフト開発、応急危険度判定と被災度区分判定を統合・連携させるソフト開発も行っております。皆様に早くお届けできるよう目下奮闘中でございます。しばらくお待ちください。

その他、令和4年9月16日に既存住宅状況調査技術者講習の会場講習、11月にはWEB講習も実施いたしました。皆様の業務・技術の向上を目的とした委員会活動を実施するため、委員会メンバー全員が全力で取り組んでおります。

今後とも協力をよろしくお願いいたします。



## 教育・情報委員会

委員長 清水 健二

教育・情報委員会の主な事業として、①行政への要望・陳情活動および意見交換会の実施、②「建築CPD情報提供制度」への取り組み・対応、③法定講習会等の開催・協力、④会員への地域防災活動及び講習会の情報提供 を行っています。

昨年10月17日の丸一日をかけ、三重県吉田山会館において、県庁 住宅政策課・建築開発課・営繕課と意見交換会を実施しました。各支部よりご意見を頂いた上、各理事・委員においても協議を重ね、内容を集約して意見交換会に臨みました。当日は、会長・副会長をはじめ、常任理事・教育情報委員長が出席、県からは各課長・建築審査監をはじめ各ご担当の出席を頂きました。

法定講習会等の開催・協力については、昨年7月6日、11月16日に建築士定期講習(DVD)を実施済みであり、今後2月22日にも実施予定となっております。また、2月16日には、三重県知事指定の「開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会」も開催予定となっております。

コロナの状況にもよりますが、どの事業も対面にての対応になってきております。

どの事業についても、会員各位との連携・協力また、積極的なご参加を必要としますので、今後ともよろしくお願いいたします。





## 四日市支部

四日市支部は令和4年4月27日現在29社の会員が在籍しています。

ここ3年はコロナ禍の中、なかなか活動ができていません。

今年も楽しみにしていた親睦旅行が中止となってしまいました。

それでも昨今のウィズコロナの流れの中、忘年会、さら到来年年始めの賀詞交歓会は開催を予定しています。

また、例会においても新工法や新製品の勉強会を再開し、会員相互の信頼や懇親を深めようとしています。

ウィズコロナと言っても、高齢の会員に出席を要請することはできず、こじんまりとした例会となっているのが、すこし残念に思います。

今後は会員増強に尽力して、活発な活動ができるようにしたいと考えています。



例会風景

## 鈴鹿支部

### バーベキュー大会

令和4年7月9日

鈴鹿支部では例年会員同士の親睦と家族サービスをかねてバーベキュー大会を行ってありましたが、ここ二年ほどはコロナ禍の影響で中止してありました。

今年は丁度コロナ感染者数が減っているタイミングで開催する事ができました。三年ぶりのバーベキュー大会ということで、参加された皆さんは思い思いに羽を伸ばされており、お子様づれの方にも非常に好評でした。

また、相原会長にもご参加頂き、非常に盛り上がったバーベキュー大会でした。

最終的に参加者は大人29名、子供6名、合計35名となりました。

次年度以降もコロナに負けず開催していければと考えております。



相原会長のご挨拶



会員さんの談話風景



## 津支部

令和4年10月9日(日)、津市では津まつりが開催されました。津支部もこれに参加し、建築士事務所のアピールとして、恒例のエコバッグ作りと建築相談を行いました。ここ数年にわたる新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント等の中止で、津まつりが開催されるのも3年ぶりだったため、津支部会員としても支部のメインイベントの再開で、感慨深いものがありました。

例年、定例の支部役員会で話し合い、会員の研鑽や親睦の機会を設けるよう努力してきましたが、新型コロナの問題であきらめざるを得ないことも多々あるのが現状です。そんな中でも、賛助会員の協力を得て例会時に研修会を行うなど、津支部としての活動が会員にとって意味のあるものになるよう、お互いに協力しながら積極的に活動を行っています。



## 松阪支部

松阪支部の会員数は今年度18社となりました。

例年であれば、年4回程度の例会、忘年会、各官庁職員を講師としてお招きした勉強会などを行っていましたが、コロナ感染拡大の影響により満足に開催出来ない状況が続いております。ただ今年度は、中止が続いていた松阪商工会議所主催のなんでも相談会が開催され参加いたしました。例年通りの活動が戻ることを切に願います。

さて、松阪支部では令和元年より松阪市公共建築物定期点検業務を各会員にて業務を行っています。各会員間での情報共有を行いながら業務を遂行し、今後も継続的に受注出来るよう努力してまいります。

最後に、会員の皆様と共に研鑽に努め各事業所の継続発展、そして本会の発展へと繋がるよう活動してまいります。



通常総会写真 令和4年5月25日



なんでも相談会 令和4年10月1日



●津支部●  
はる  
陽設計

- 所在地：〒514-0824 津市神戸1581番地1
- TEL：059-269-7121
- FAX：059-269-7121
- 代表者：河合 敏
- 設立：平成30年7月9日

弊社は民間建築物及び公共建築物の、新築、解体、改修の設計及び監理、建築確認申請業務、建物点検業務等を行っています。また、戸建て住宅や店舗等の建物移転補償の図面及び積算の補助業務も行っています。

設計においては施主の要望に応えた建物を考え、使い勝手、施工性、コスト、メンテナンス性を追求し、最も良いものを選択出来るよう心がけています。



事務所紹介

- 所在地：〒515-2101 松阪市星合町2198-2
- TEL：0598-56-9666
- FAX：0598-56-9667
- 代表者：小林 康弘
- 設立：平成元年4月

●松阪支部●  
株式会社  
小林設計



弊社は、三重県を拠点に全国で活動する一級建築士事務所です。戸建住宅や集合住宅、ホテル、店舗、福祉・公共施設など建築全般の設計、監理を行っており、耐震診断・耐震補強といった地域とつながりを持った仕事もしています。仕事の大小ではなくクライアントの感性・要望・予算にあった建築を目指し、監理を通じて質の高い建築を造り、長期に渡りメンテナンスも相談乗り、一生の「おつきあいを大切」にを会社の理念とし、年月が経過しクライアントのライフサイクルが経過しても対応し、建築費用の負担を長期に軽減する建物が大切だと考えます。



- 所在地：〒516-0051 伊勢市上地町3604-1
- TEL：0596-28-0245
- FAX：0596-28-0250
- 代表者：近藤 隆男
- 設立：平成22年5月31日

## ●伊勢支部●

株式会社 近藤建設  
一級建築士事務所

当社は、公共土木会社としてスタートしましたが、近年、公共・民間建築工事も手掛けるようになりました。住宅建築に関してはまだまだ着工戸数は少ないですが、そこに住む家族が幸せになっていけるような快適で住みよい住宅設計と品質の良い施工を心がけています。今後も「しあわせつくる家づくり」をモットーに日々努力を重ねていきたいと考えています。



## 事務所紹介

## ●志摩支部●

向井照雄  
建築事務所

- 所在地：〒517-0214 志摩市磯部町迫間409-3
- TEL：0599-55-0157
- FAX：0599-55-0157
- 代表者：向井 照雄
- 設立：昭和59年9月1日

事務所設立から38年になりました。8年前に現在の地に移転して来ました。おもな業務内容は、個人住宅の設計・監理を行っていますが、時々公共建築工事も行っています。木造住宅耐震診断を



これまで100件程度行ってきましたが、著しい老朽化、高額な補強工事費等により、耐震補強工事の実績は数件程度に留まっています。

「建築基準法 + 省エネ法の改正」への対応など、日々勉強に励み、これからも、安心・安全な建物を造っていきます。





# 目 安 箱

## 地域自然遺産の活用

紀州支部 木村 一樹

新型コロナウイルスが収束しない中で、ロシアによるウクライナ侵攻などで世界中が試練の時代を迎えています。国内では原油高騰や円安の煽りを受けて、特に輸入品の値上がりが止まりません。建築業界も建築資材の高騰や半導体不足などで相当の打撃を受けました。こうした問題が深刻になると、いつもエネルギーや食糧などの自給率の問題が浮かび上がってきます。建築業界でも資材の調達や高騰に影響を受けていて、とりわけ木材の高騰は慢性化しています。国内の木材自給率は昭和30年には94.5%を誇っていたものが、急激に減り続けて、平成12年には18.2%にまで落ちこみました。その後、各方面の取り組みもあって令和2年には35.8%に改善されました。激動の時代を迎えて、輸入木材の調達はさらに厳しくなり、国内需要をカバーすることは難しい状態が続いています。

この先、世界情勢や気候変動は予測もつきません。暮らしを安定するには、消費する物質の自給率を安全なレベルまで引き上げる必要があります。解決には年月がかかりますが、手をこまねいていると取り返しのつかない時代を迎えるかも知れません。私も、わずかですが放置されていた山林を買い取り、杉や檜を加工利用する試みを始めました。そこで気づいたことは、個人レベルでは作業効率やコスト面で課題が多す

ぎるということ。木材が利用されて初めて木材価格の安定につながられますが、それには効率化を上げるために育林や伐採、加工でも機械化は避けられません。幸いにも林業での機械化の改善は日進月歩の勢いで進んでいるようです。ただ、機械化への投資は容易ではありません。価格面を含めて木材需要を補うには簡単ではありません。まして片手間では、到底無理だと痛切に感じているところです。食糧生産も同様ですが、まずは危機感や重要性が社会全体で共有されなければ、課題を乗り越えることはなかなかできないのが現状です。

そのためには建築業界だけでなく、様々な業界が情報や意見を交わして、現実的な行動につなげる必要があります。最終的には一般を含めて社会全体のコンセンサスを得られるようにしなければ、問題は封印されるまま。今回の取り組みで、木材生産や森林の役割を知る上で少しでもヒントになったと考えております。

## 街路樹は 一体だれのものなのか。

伊賀支部 森本 景二

わたしは50年以上前に造成されたニュータウンの一角に7年前から住んでいる。東京から地元に戻ってきたときに沿道を彩るナンキンハゼの街路樹に惹かれて現在の土地を購入し、自宅を設計した。しかしニュータウンなので複数の駐車置場は必要であり、街路樹の管理者である市も駐車



の出入りに影響ある場合は木の伐採を認めていたので、ナンキンハゼは家の建て替えのたびに減少していた。そんな状況だったので、私はナンキンハゼを切らずに家をつくりたいと思った。ナンキンハゼは両端と真ん中に3本植えられていたので、駐車場は真ん中の木を避けるように左右に分けて2台確保し、残った敷地の真ん中に個室と玄関を配置した。こうして私の家の前には3本のナンキンハゼの木が残り、四季の変化を感じさせてくれていた。その後も通り沿いに2.3件の住まいが完成し、そのたびに駐車場のために街路樹は切られたが、幸いにも建て替えが少なかったため、街路樹は多くが残されていた。

しかし竣工して5年後の2020年秋に突然、大きな変化が訪れた。街路樹を形成していた3つの工区のうちの一つのナンキンハゼが全部切られてしまったのである。事前に何の予兆もなく、私の工区の自治会長さえも何も聞かされていなかったため当初は何が起こったのかわからなかった。原因は隣の工区たちだけで街路樹の伐採を決定し、それを管理者である市が認めたためにおこったことだった。

このためにこれまで守られていた通りの街路樹の風景は完全に壊されてしまった。

この伐採により街路樹全体の1/3以上なくなった。また街路樹を切った事例ができたことで同じ動きが市内の他の地域にも一気に広がった。その流れは私の工区にも広がり、街路樹を切りたい人も多くあらわれた。協議したものの、「隣は切っているのになぜうちは切ったらあかんのや」「今まで切ったらあかんと言ってた市が認めてるやないか」という意見も強く、私の住む工区では各自が家の前にある街路樹をどうするかを判断することとなった。個人が市の財産である街路樹をどうするか決めてしまっているのかと思ったものの、規制がな

くなった中で街路樹がいらないと思っている人を説得することは不可能だとも感じた。工区内の方に街路樹を残してもらうようお願いしたが、最終的には約1/3の木がなくなった。

一度切ってしまった木は戻らない。街路樹を守るには落ち葉の掃除をはじめとして多くの労力が必要であり、もちろん費用も掛かる。特に高齢者や独り暮らしの方にとってその負担は非常に大きなものがある。剪定も必要であり、下水管や歩道への損傷もみられる。それらのクレーム対応やメンテナンスにも大きな労力があることは容易に想像できる。

しかし街路樹にはそれを上回る魅力がある。多くの人の散歩道となり、夏は木陰を作り、秋は見事な紅葉を見せてくれた。庭や緑の少ないニュータウンに対して緑を与えてくれる貴重な存在であり、街の緑視率の向上にも役立っていた。またどんなにお金があっても立派な建築を建てられても敷地の外を整備することは不可能であり、見学に来た建築家たちは街路樹があることをうらやましがっていた。このように個人宅の設計ではいかんともしがたい街並みや風景を街路樹が担保してくれていた。その立地を生かして私の家では街路樹が眺められる場所に1階の出窓や2階廊下の窓を配置していたが、今やさみしい風景となった。

街路樹がなくなったことで空き家や、荒れた建物が目立つようになるとともに、ニュータウンには緑が少ないことを痛感した。特に新たに建てられた家には庭がなく、道路に面しては駐車場だけのところも多い。街が一気に殺風景になってしまったことを痛感した。

地方では移住促進などのためにキャッチコピーとして「緑豊かな」とか「自然豊かな環境」を標榜している。ここでは緑豊かであることが「メリット」として肯定的に



語られている。そしてここに住めば緑豊かな環境の中にいられるかのような錯覚を与えている。しかし、実際に地方で行われている現実として、緑豊かな環境を形成するために重要であるはずの街路樹は伐採されつつある。

街路樹は一体だれのものなのか。



## 地域の空き家について

志摩支部 片山 正司

昨年私は、志摩市の年齢別人口構成比を調べる機会がありました。年少人口と生産年齢人口ともに減少傾向にあり、今後この傾向は続くと予想されています。人口の約40%が65歳以上で、全国平均よりも高齢化がかなり進んでいるのが現状です。

その様な地域ですので空き家もかなり目立つ様になって来ました。

その様な中、国土交通省は、有識者が参加する「空き家対策小委員会」を令和4年10月25日に立上げ、令和5年1月ごろ下記項目について答申をまとめるそうです。

▼空き家の発生を抑える

▼空き家の活用

▼適切な管理や除却などの方法など

コロナ禍で、地方移住が静かなブームの中で、移住者への住宅供給として考えてみたのですが。

まずは、地方移住のデメリットをあげると、

▽仕事、収入に不安がある

▽田舎は車社会で車がないと日常生活に支障が出る

▽医療機関が少ない

▽地域とのコミュニティが必要

▽物価は都会と比べてあまり変わらない

▽環境の整備が必要

▽教育機関に限られる

▽人口減少は更に進む

上記のデメリットを解消出来るのは、地方の中核都市くらいで、深刻な「空き家」に苦慮している田舎では、デメリット無しでの地方移住は、難しいそうです。

「空き家」の数を減らす別の方法としては、税制面をより有利にして、除却を進める程度しか思い付かないのですが。成功事例があれば、会員の皆さんどんどん情報を発信してください。

※年少人口：0～14歳

生産年齢人口：15～64歳

老人人口：65歳以上



## ある建築確認検査機関の対応と創業者の教え

伊勢支部 西井 一比古

時に、行政と民間確認検査機関、または、民間検査機関相互において、建築基準法関連法規の解釈の取り扱いについて運用が異なる場合がある。

建築確認申請に携わる方々も人間だし、そのことについて全国各機関の運用を同一にすべきであるとまでは言うつもりはない。私にしても、若い頃は全国の都道府県での確認申請業務に携わり、その運用が一定でないことは十分に理解している（地域性だってあるだろう）。

しかし、一定の狭い地域、例えば県の同一建設事務所単位での運用は一定であることが望ましいのではないかと考える。そう





でない、極端な話、隣同士で異なる法解釈の建物が存在することになる。さすがにこれはいかななものかと思う。

前述の通り、一定の見解の相違が生じることは理解する。その上で、この矛盾を解消するために、行政、各民間確認検査機関において、少なくとも県の同一建設事務所単位では見解を同一にする仕組みづくりは必要なのではないか。例えば、個別のケースで、各関係者が協議し、運用を同一にする積み重ねを徐々に蓄積するとか、行政の判断を優先するとか、方法はいくらかあるように思う。

話は変わるが、私の事務所は父が創業し、現在は私が引き継いでいるが、父からはクライアントには誠実に接することと、信頼を築き上げるのには長い時間がかかるが、それを失うのは一瞬であることを学んだ。その教えのおかげで、現在も、細々とではあるが、地域の皆様に支えられ、スタッフ数人と、家族が飯を食っていただけるだけの事務所を運営している。

先日、県内の民間確認検査機関にスタッフが建築確認申請を提出に行ったところ、この内容では、受け付けられないとの対応を受けた。

指摘の内容については、事前に県の建設事務所と協議し、その結果を当該機関にも伝え、その方向について理解を示していたにも関わらずだ。

スタッフから報告を受けた私は、確認検査機関の窓口担当者に、行政と見解が異なること、事前相談との見解が覆ったことについて、書面での回答を求めた（こういうことはこの業界では一定程度起こりうることであることを理解した上での話である）。

ところが、窓口担当者からは、受け付けてから訂正をするより、今回の対応の方が時間的なロスも少なくてすみ、むしろよ

かったとの回答がスタッフ宛にメールで送信されてきた。

窓口担当者の一連の対応に対して理解に苦しんだ私は当該確認検査機関社長様宛に、①一連の窓口対応について会社としてどのように考えるか。②今後、少なくとも同一地域において法の見解を同一にする仕組みづくりをお願いしたい旨の内容のメールを送信し書面での回答を求めた。

二週間ほどが経過し連絡がないので、私から会社に電話を入れたところ、顧問弁護士にも相談したが、この件については契約関係にないので、お答えできないとの回答だった。

私としては、“今回は混乱を招いた、今後はこういった対策を講じていく”といった程度の返答で十分であっただけに非常に残念であった。

私の経営方針とこの確認検査機関の経営方針は根本的に異なる。もちろん、お客さまは神様だなどと言って、その権利を傍若無人に行使するつもりはない（昨今はクレマーに対して一定の防御策を張っておくことは残念ながら必要なことでもある）。

しかし、クライアントには、もう少し誠実に対応するべきではないだろうか。

父の、失った信頼は・・・という教えが頭をよぎる。

経営方針については個人的な感情も影響するのでこの位にしておくとして、やはり、法解釈の運用について、その見解を共通のものとするべく、今後一定の方針を確立することは重要かつ必要なことであると考えている。

是非ともこの課題について、建築確認申請の審査に携わられる方々に、その仕組みづくりに取り組んでいただくことを切にお願い申し上げ、この文章を締めくくらせていただきます。



## New face

# 新入会員紹介

住まいと暮らしの設計室

代表者 坂 英哉

住 所 〒519-1127 三重県亀山市加太中在家 8032-1  
三栄林産株式会社内

T E L 0595-98-0678

F A X 0595-98-0507



一般社団法人 三重県建設資材試験センター

代表者 谷川 恭雄

住 所 〒514-0303 三重県津市雲出長常町字中浜垣内  
1095 番地

T E L 059-271-5755

F A X 059-271-5756



イズマイ建築設計

代表者 中西 修二

住 所 〒514-0041 三重県津市八町 3 丁目 6-3  
増栄ビル 200 号

T E L 059-253-6896

F A X 059-253-6896



奥出設計一級建築士事務所

代表者 奥出 桂樹

住 所 〒519-2179 多気郡多気町仁田 725-4

T E L 0598-39-3433

F A X 0598-39-3433









## 視点・論点

### 今だからこそ考えるクリーンエネルギーについて

コロナ禍（コロナとの共存）が過ぎようやく経済が動き出そうとした、2021年度の建築物着工床面積は前年度比より増加傾向にあり、建築需要の回復がみえてきた。

しかし、ロシアのウクライナ侵攻の影響により原油や資材の高騰が加速し、景気悪化が懸念されている。

2022年3月の建設資材物価指標は前年同月より2割弱の増加だった。製材、合板、鉄鋼、原油高に加えて石油製品の高騰も加わった。そして、電力の高騰により生産工場への影響も出始めている。

2022年6月現在円安により海外生産より国内生産を考えて地産地消に切り替えたところだが電力の高騰により折角の円安が意味をなしていない。ここで疑問なのだが、どうしてエネルギーが高騰しているのか？こんなに太陽光発電施設があるのに電力需要がひっ迫するのか？太陽光や風力はただじゃないの？クリーンなエネルギーとは何なのか？いろいろ思うところはあるのだが、やはり原子力こそクリーンエネルギーなのではと。3.11の原発事故はあくまでも電源の喪失による事故で、決して地震によって起こった事故（直接という意味）では無い事をもう一度考えたほうが良い。

ここ最近で一番気になるのは、やはり森林伐採をしたメガソーラーの建設が森林大国の日本で行われていること、話は変わるが米軍の基地移設に反対の方は辺野古の海が失われると、しかしメガソーラーの森林伐採では誰一人声を上げていないのではないかと。

ここでもう一度原点である3.11の原発事故に立ち返り原子力発電所のあり方について議論をし、正しく理解をし、次世代につなげていくことの重要性をみんなで繋いでいきたい。

広報・渉外委員会 副委員長 見永 亮介

# 時代の空気を 変えていく。

もっと快適を、もっと心地よさを。私たちの思いは、みなさまと共にあります。  
先進の技術で、都市の快適をつくる人や地球環境に優しい空調システムへ。  
ガスのエネルギーで時代の空気を変えていきます。



スマート&超高効率 ヒートポンプ

**GHP X AIR III**  
GHPエグゼアIII

東邦ガス  
GASMO NAVI

GASMO NAVI 検索

〈クッションフロア総合〉

# H FLOOR

2022-2024

心がはずむ  
「好き」に出会える  
見本帳。

2022.10.25  
NEW  
RELEASE



sangetsu

Joy of Design

株式会社サンゲツ www.sangetsu.co.jp





竣工図

01	Sanko Roofing Technology
02	Sanko Water-Off-System
03	Sanko Acoustic Panel
04	照明一式
05	観客席
06	屋根排水
07	屋根・壁・窓枠付設備
08	足場設備
09	空調機・給水
10	設備管等一式

# Sanko Roofing Technology

サンコーレーフイングテクノロジー

私たちは常に最先端を走るための研鑽を、時代の進歩に応じてはそれ以上の進歩を期しています。その研鑽が、お客様の課題を先取りで解決し、先んじてお客様にも先取りで提供するようになっています。3層構造工事は70年以上の経験とノウハウに基づいてまいりました。初めての方でも、簡単にその工法の魅力を伝えるSanko Roofing Technologyで、お客様に最高の価値をお手交したいと思います。

# TOTO

## だれもが快適で使いやすいパブリックトイレへ

～バリアフリートイレをもっとコンパクトに～

## コンパクト・バリアフリーイレパック

(車いす・オストメイト配慮セット) 壁掛式(汚物流しあり)  
 セット品番UADAK21R1A1ADD2B 希望小売価格 **¥2,368,450** (税・工事費別)

さまざまな利用者への使いやすさを配慮  
 一人でも多くの方に使いやすいバリアフリートイレへ。  
 さまざまな利用者に配慮しています。

車いす使用者配慮  
 車いすで  
 アプローチしやすい。

乳幼児連れ配慮  
 衣服着脱・  
 おむつ交換などに便利。

オストメイト配慮  
 使いやすい形状と高さ。

中部支社 津営業所 三重県津市久居野村町420-10 営業センター 電話:052-308-4718  
 TOTO技術相談室  
 電話:0570-01-1010 FAX:0570-01-2111  
 受付時間:(平日)9:00~18:00 (土曜日)9:00~17:00 (日・祝・夏期休暇・年末年始を除く)

建築専門家のための情報サイト  
 COM-ET(コメット)  
<https://www.com-et.com>

コンパクト・バリアフリーイレパック 商品ページ  
<https://jp.toto.com/products/accessible/compact>

※用途や広さに応じて多彩なバリエーションを用意しています。



## 中部電力ミライズのCO2フリー電気 「ミライズGreenでんき」

産地指定なし

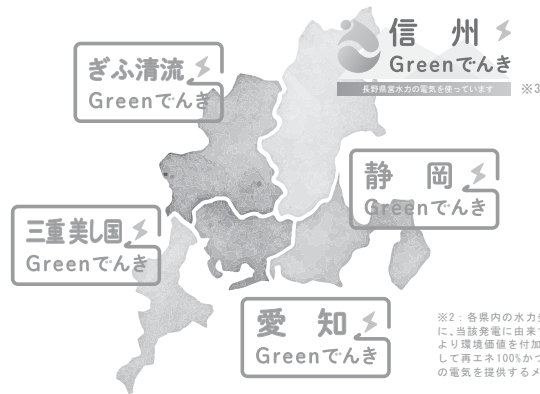
CO<sub>2</sub>フリー電気(標準) ※1

Green  
でんき

※1：中部電力ミライズが調達した電気は、水力発電等の再生エネルギーに由来する非化石証書の使用により環境価値を付与することで、実質的に再生100%かつCO<sub>2</sub>ゼロエミッションの電気を提供するメニューです。

産地指定あり

CO<sub>2</sub>フリー電気(県産) ※2



※2：各県内の水力発電等で発電された電気は、当該発電に由来する非化石証書の使用により環境価値を付加することで、県産電気として再生100%かつCO<sub>2</sub>ゼロエミッションの電気を提供するメニューです。

※3：長野県企業局の電源を活用したメニューです。

## 株式会社トータル建築確認評価センター

三重県知事指定確認検査機関

国土交通省中部地方整備局長登録住宅性能評価機関

□四日市センター

〒510-0075

四日市市安島1丁目2番13号  
サミットビル4階

(近鉄四日市駅 徒歩2分)

TEL (059) 350-8610

FAX (059) 350-8611

□津センター

〒514-0003

津市桜橋二丁目177番地2  
三重県建設産業会館1階

(津市駅 徒歩7分)

TEL (059) 221-5770

FAX (059) 221-5771

□伊勢センター

〒514-0003

伊勢市二俣一丁目1番24号  
スクウェアモリタ3階

(渡会橋東詰より東へ300m)

TEL (0596) 63-6580

FAX (0596) 63-6581

ホームページアドレス <http://www.total-kakunin.co.jp>

窓口受付時間：午前9時～午後12時

午後1時～午後5時

定休日：土・日・祝日及び夏期・年末年始 など





創意  
解決。



納費工場（納費オフィス）2019年5月竣工



SEIBUNSHA

<http://www.seibunsha-net.co.jp>

## 技術に誇りを 建物に安心を ERI

私たちは建築法規の専門家です。

2021年4月より対象規模が拡大された省エネ適判業務について、  
2021年7月より三重県内で対象範囲が拡大された中間検査業務について、  
その他建築法規関連全般で、何かお困りのこと、弊社でお手伝いできることは、ありませんか？

弊社では積極的に、WEB相談・BIM活用・電子申請等、  
確認業務のICT化を推進しております。

全国34拠点の幅広い業務フィールドを利用した、  
迅速なワンストップ・サービスをぜひご活用ください。



日本ERI株式会社 三重支店

〒514-0009 三重県津市羽所町700 アスト津12階  
TEL 059-221-6201 FAX 059-221-6202



LINE公式アカウント  
はじめました！  
お友達には情報を  
いち早くお届け！



多段式パレット保管テナー

# ワンピーステナー



製品動画



## パレットラックとネスティングラックのメリットを集約！

必要な時に、必要なスペースを、必要なだけ創り出します！

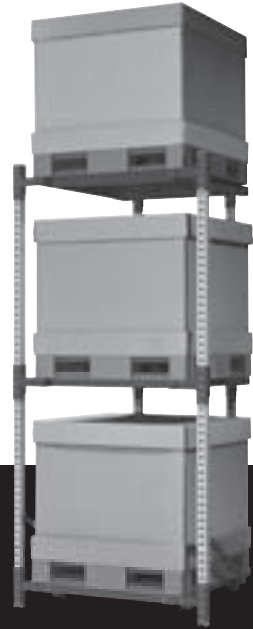
段ピッチの調節が可能！

スペースを無駄なく活用できます！



使わない時はネスティング！

コンパクトに収納できます！



JISマーク表示制度認証取得工場

**三進金属工業株式会社**

<http://www.sanshinkinzo.co.jp>

本社・工場 (大阪府)  
福島工場 (福島県)

東京支社 03-5822-7400  
中部支社 0568-75-7811

大阪支社 06-6121-7870  
九州支社 092-925-4200



HP

**元旦**

屋根に夢と技術をのせて

屋根と同時に上から  
機能性・意匠性を満たす  
直天井をつくる



パーフェクト・オールマイティ・システム  
**PASTEM-2** PAT

天井化粧材が母屋を兼ねる 屋根上から天井まで仕上げる

高断熱仕様・吸音性能・遮音性能が選べる仕様

製造  
発売元

**元旦ビューティ工業株式会社**

フリーダイヤル 0120-09-49-39

<https://www.gantan.co.jp>

名古屋営業所 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦 1-17-13 名興ビル 6F TEL.052-220-1051 FAX.052-220-1052

**全国元旦会**

信頼・安心・確かな技術で責任施工  
全国約8000人の施工ネットワーク

# CI東海で電子申請 始めませんか!



CI東海キャラクター  
「金太くん」

デジタルの時代 確認申請を24時間 **いつでも** **どこからでも** オンラインで!

おまかせください! CI東海が全力でサポートします!

1. 複数物件の管理や審査物件の進捗管理がオンラインで確認できます。
2. 補正等のやりとりがチャット形式でご覧いただけます。
3. 確認・審査手数料は従来通りです。副本(写)はご希望により有料で印刷いたします。
4. 申請情報は、社内・協力会社様で共有することができます。
5. インターネットを活用しオンラインでご相談いただけます。

さあ、始めましょう! 些細なことでも、まずは、ご相談ください。

## 業務内容

- 建築物等の確認・検査
- 住宅性能評価の審査・検査
- フラット35の審査・検査
- 低炭素建築物
- 長期優良住宅の審査
- 住宅性能証明
- 住宅瑕疵担保保険の審査・検査
- 省エネ適合性判定
- BELS評価
- 住宅に関する調査・鑑定
- すまい給付金
- 性能向上認定・基準適合認定

指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関  
登録建築物エネルギー消費性能判定機関



株式会社 **CI東海**

<http://www.ci-tokai.jp/>

### 四日市事務所

〒510-0074 三重県四日市市鶴の森 1-3-15 リックスビル1F

TEL 059-355-3200 FAX 059-355-3201 E-Mail [kakunin-yokkaichi@ci-tokai.jp](mailto:kakunin-yokkaichi@ci-tokai.jp)

本社 〒460-0022 名古屋市中区金山 1-12-14 金山総合ビル4F 申請予約電話番号: 052-322-0489

TEL 052-321-2001 FAX 052-321-2002 E-Mail [kakunin@ci-tokai.jp](mailto:kakunin@ci-tokai.jp)

岡崎事務所 〒444-0831 岡崎市羽根北町 2-1-1

TEL 0564-84-5575 FAX 0564-84-5576 E-Mail [kakunin-okazaki@ci-tokai.jp](mailto:kakunin-okazaki@ci-tokai.jp)

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 張るだけで 環境に貢献する外壁材。

使われている国産材チップは、外壁材の体積比50%以上にも及びます。

「オフセットサイディング」は、セメントと木材チップを独自の技術で混ぜ合わせ、乾式でプレス成型して生産する外壁材です。柱を製材した後に残る背板、端材など本来不要となる部分を加工した国産木材チップの量は、外壁材の体積の50%以上にも及んでいます。その結果、木の有効活用につながるとともに、木が生長過程で吸収した多くのCO<sub>2</sub>の放出を防止(炭素の固定化)。地球温暖化を防止するカーボンニュートラル、さらには森林の保護・育成に大きく貢献しています。



国産木材とセメントで、

CO<sub>2</sub>を  
閉じ込める外壁材を。  
オフセットサイディング



素晴らしい人間環境づくり

ニチハ株式会社

<https://www.nichiha.co.jp/>

ニチハ公式  
動画サイト

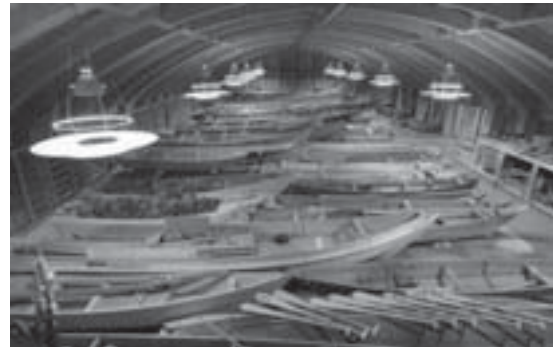






← 二見西津波避難施設  
(基礎事業・コンクリート杭工事)

鳥羽 伊勢志摩国立公園 海の博物館  
↓ (プレコン事業・プレキャスト工事)



**【事業内容】**

- コンクリートホール・ハイル及びその他セメント二次製品の生産並びに販売
- 土木建築工事の設計・施工並びに監督

**【取扱商品】**

- コンクリートホール・ハイル
- PCカーテンウォール・繊維補強コンクリート製品
- 地中化商品・橋梁製品

**豊かで快適な生活空間づくり**



**東海コンクリート工業株式会社**  
TOKAI CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.  
代表取締役社長 服部 邦夫

**【お問い合わせ先】** 販売推進本部

〒451-0041 名古屋市西区幅下一丁目10-28  
TEL : 052-587-23 FAX : 587-2336  
URL <http://www.tcon.co.jp/>  
E-mail [tomonori.ohguchi@tcon.co.jp](mailto:tomonori.ohguchi@tcon.co.jp)

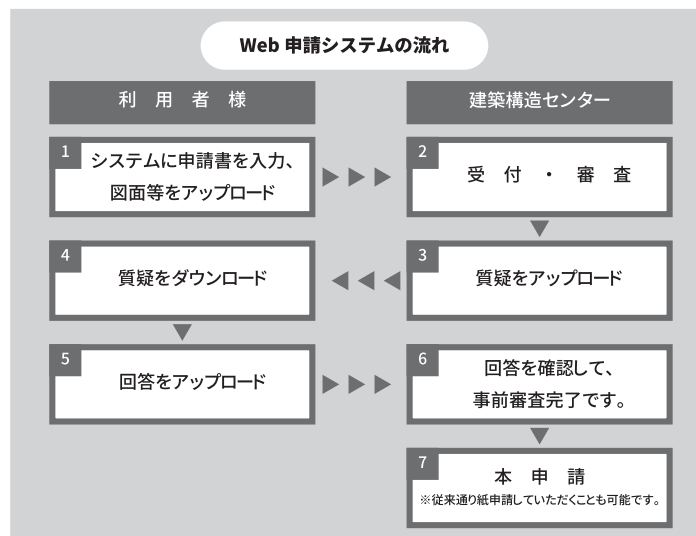
**電子申請 (Web 申請システム) サービスのご案内**

いつでもどこからでもペーパーレスで構造適判審査をご依頼いただけます!

**案件の進捗情報**  
の共有が可能!

**営業時間を気にせず**  
申請が可能!

**簡単操作**  
で使いやすい!



株式会社 **建築構造センター**

**三重事務所**

詳しくは HP をご覧ください!



# 村木建材工業株式会社

〒514-0816

三重県津市高茶屋小森字大新田2833番地

TEL : 059-234-2101

FAX : 059-234-8631

URL

<https://murakikenzai.co.jp/>

満足いただける製品を提供する  
積み重ねた「経験と技術」

## 快適かつ 機能的な空間作り



## 片引き窓の進化系

## 三協アルミ

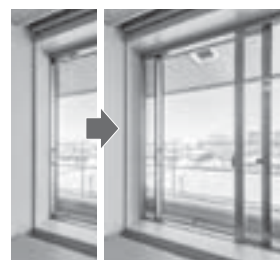


アイ・エス 100



かまちと枠を隠し、100mmの見込みの中にすべてを納めました。内観は凹凸の少ないフラットなデザインで、上質感と開放感を創り出しています。また、高い断熱性能、水密性能に加え、安心して快適な通風を可能にするスリム網戸を内蔵した革新的なサッシです。

ビルトイン網戸



操作方法については、QRコードより動画をご覧ください。



三協立山株式会社 三協アルミ社

ビル建材部 / 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-3-6 NBF名古屋広小路ビル8F TEL (052) 265-8149 [buildingsash.net](http://buildingsash.net)

KMEW

40年、美しさが  
つづく壁、  
光セラ18。

光セラ



ウェブサイトで  
光セラの美しさの秘密、  
10年後の実例をご紹介します。



「光セラ」は光触媒工業会(PIAJ)の「セルフクリーニング」  
「空気浄化(窒素酸化物)」「抗ウイルス」「抗菌」基準を  
クリアし、認証を取得しています。

ケイミュー株式会社 ケイミューは「パナソニック」と「クボタ」が出資している両社のグループ会社です。

[三重営業所] 〒514-0031 津市北丸之内 166 TEL.059-226-2276 FAX.059-226-2286

[www.kmew.co.jp](http://www.kmew.co.jp)

YODOKO

# ヨド HyperGLカラー

ヨド HyperGLカラー **EXE エグゼ**

高級艶消し塗装鋼板

穴あき25年保証 塗膜15年保証

ヨド HyperGLカラー **萌** <きざし>

艶消し塗装鋼板

穴あき25年保証 塗膜15年保証

ヨド HyperGLカラー **カラーGL**

高光沢塗装鋼板

穴あき25年保証

ヨド HyperGLカラー **スーパーバリア壁**

クロメートフリー 耐汚染性塗装鋼板

穴あき25年保証

スチール! & アイデア!  
**淀川製鋼**

名古屋営業所 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目4番12号 TEL.052-239-1259

<https://www.yodoko.co.jp/>



DAIKEN  
 登録商標  
 免状生産対応

市民の暮らしに  
 森のめぐもり。



靴やキャスターなどの  
 傷が付きにくく、  
 快適環境をいつまでも。



大建工業株式会社

NH PILE

環境にやさしい

「高支持力杭設計」を実現!!

様々な条件に対応できる、豊富なバリエーション

経済的な設計を達成する、より強固な高支持力杭



ハイビーエム(H・B・M)工法  
 <プレボーリング拡大根固め工法>



ハイエフビー(HiFB II)工法  
 <プレボーリング拡大根固め工法>



New-STJ工法  
 New-STJ-II工法  
 <中掘り拡大根固め工法>

NIPPON HUME  
 日本ヒューム株式会社

本社 〒105-0004  
 東京都港区新橋5丁目33番11号  
 TEL:(03)3433-4111(大代)  
 FAX:(03)3434-2320  
 http://www.nipponhume.co.jp  
 支社 北海道 関東・東北 東海 関西 九州

皆様毎々お世話になります。

令和3年11月に賛助会員として入会承認をいただきました(株)和田商店中部支店です。  
どうぞよろしくお願い致します。

早速ではありますが、簡単に当社の自己紹介をさせていただきます。

当社は、大正10年2月にセメント卸売商として開設し、変遷をたどり現在に至っております。  
本社は東京都銀座に位置し、弊中部支店は三重県四日市市に事務所を構えております。  
取扱商品は、セメント関連全般、コンクリート用混和材、コンクリート製品関連資材等々を  
幅広く取り扱っております。

現在は、上記各種製商品に加えWデッキ、ルーバー等をメーカーと共同として皆様方へ  
PR活動を始めたところです。

早く皆様方へ各種製商品のご提案ができるパートナーとして邁進してまいります。

是非とも当社を活用いただきたく重ねてお願い申し上げます。

本年もよろしくお願いいたします。

株式会社和田商店 中部支店  
〒510-0061 三重県四日市市朝日町3番2号  
TEL：059-353-6531  
FAX：059-354-0744



**W 小松ウオール**

ちようどいい。  
プライベートな空間をデザインします。

### 小松ウオール工業株式会社

本社/石川県小松市工業団地1-72 TEL (0761)21-3131 (代)  
三重支店/三重県津市栄町3-143-1笠間第2ビル2F TEL (059)253-4811 (代)





## 編集のあとがき

会誌「建事協みえ」は各委員会の活動の状況・各支部の活動の報告の他、関係者の皆様方や会員からの寄稿などを掲載することで、建築士事務所協会の活動を身近に感じていただければとの思いで広報・渉外委員会が編集し発行している冊子です。会誌に寄稿いただいた方々をはじめ、発行にご協力いただいた多くの皆様に対して厚く御礼を申し上げます。

また、当委員会の主たる活動となる建築士事務所キャンペーンについては、三重県内の工業高等学校への出前講座を開催しました。コロナ禍において受け入れ対応をして下さった関係者の皆様に感謝申し上げます。

これからも会誌「建事協みえ」が会員の皆様の親睦、情報交換の場として役立つように取り組んでいきたいと考えております。

今後ともご指導、ご協力のほどよろしく申し上げます。

広報・渉外委員会 委員長 伊東 俊一

---

### 広報・渉外委員会

担当副会長	相尾 重信
担当常任理事	重住 昌宏
委員長	伊東 俊一
副委員長	見永 亮介
委員	前田 裕也

---

### 各支部広報・渉外担当委員

桑名支部	二井 誉史
四日市支部	国安院 章良
鈴鹿支部	中浦 達也
津支部	前川 忠則
松阪支部	田中 宏樹
伊勢支部	水谷 豊
志摩支部	片山 正司
伊賀支部	森本 景二

---

**KENJIKYOMIE**

No.107

令和5年1月発行

発行人 相原 清安  
編集 広報・渉外委員会  
発行所 一般社団法人 三重県建築士事務所協会  
〒514-0037 三重県津市東古河町8番17号  
システックビル4階  
TEL059-226-4416  
FAX059-224-9297  
<http://www.sekkei-mie.jp>

---

## おはらい町の街並み

---

伊勢神宮・内宮の前で栄えるおはらい町。  
宇治橋から五十鈴川に沿って続くおよそ  
800m の石畳の通りには、伊勢特有の切妻・  
入母屋・妻入り様式の街並みが軒を連ねます。  
通りにはたくさんの土産物店・飲食店や商屋  
が立ち並び、参拝後の町歩きが楽しめます。  
また、神宮道場や祭主職舎などの歴史的建造  
物などもあり、伊勢らしいレトロな雰囲気が  
たっぷり詰まっています。

---